

**CASIO®**

P

**3416P\*JA****取扱説明書****3416**

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

# この時計の特長

この時計は、以下の機能を備えています。

## ◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になると電子音や振動でお知らせします。

→ P.15

## ◆ストップウォッチとして使えます

1/100秒単位で24時間まで計測できます。

→ P.17

## ◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音や振動でお知らせします。

→ P.19


## ◆デュアルタイムがわかります


海外時刻など、2つ目の時刻を表示できます。


→ P.21

# 安全上のご注意

**絵表示について** 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

## 警告

### スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



### 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 **注意****お手入れについて**

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

**かぶれについて**

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
  - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
  - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
  - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
  - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

## 注意

### 分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



### ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

**ご使用にあたって**

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

# 目次

この時計の特長 .....	表紙裏面	ストップウォッチ .....	17
安全上のご注意 .....	1	ストップウォッチモードを選ぶ .....	17
本書について .....	8	計測する .....	17
本文中の記号について .....	8	オートスタート機能 .....	18
操作部と画面表示について .....	9	アラーム・時報 .....	19
液晶表示について .....	9	アラームモードを選ぶ .....	19
画面に表示されるマークについて .....	10	アラーム時刻を設定する .....	19
モードの種類と切り替え .....	11	アラーム・時報の ON/OFF .....	20
各モードでできること .....	12	電子音／振動を止める .....	20
時刻を合わせる .....	13	海外の時刻を見る（デュアルタイム） .....	21
日付と時刻を合わせる .....	13	デュアルタイムモードを選ぶ .....	21
タイマー .....	15	タイム 2 を設定する .....	21
タイマーモードを選ぶ .....	15	タイム 2 の 12/24 時間制を切り替える .....	22
計測時間を設定する .....	15	アラーム等のお知らせ方法 .....	23
計測する .....	16	アラーム等のお知らせ方法を切り替える .....	23
電子音／振動を止める .....	16	電子音／振動を確認する（モニターアラーム） .....	23



ライト .....	24
ライトを点灯させる .....	24
製品仕様.....	25
ご使用上の注意 .....	26
お手入れについて .....	29
電池交換について .....	30
金属バンドの駒詰めについて .....	30


# 本書について

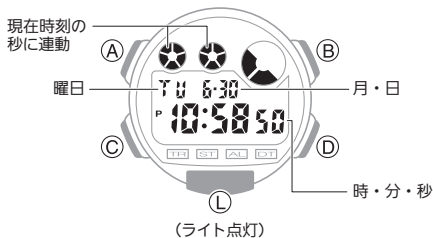
## 本文中の記号について

- ✔ **重要** : 正しく使用するために必要な情報を記載しています。
- 🗨 **参考** : 各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。
- 🔍 : 詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

## 操作部と画面表示について

この時計の操作は、(A)～(D) ボタンおよび(L) ボタンを使用します。また、各表示部は以下を表します。

 モードの種類と切り替え…P.11



### 参考

- この取扱説明書では各ボタンの操作を説明するために、図に記載した名称を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

## 液晶表示について

製品により液晶表示のタイプが異なります。

- 1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

白地に黒

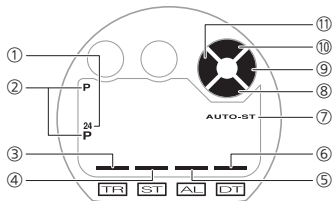


黒地に白



本書は「白地に黒」のタイプのイラストで説明します。

## 画面に表示されるマークについて



番号	名称	点灯(点滅)しているときは	参照ページ
①	24 時間マーク	24 時間制の時刻を表示しています	14
②	午後マーク	12 時間制で午後の時刻を表示しています	14
③	タイマーモードマーク	タイマーモードです	15
④	ストップウォッチモードマーク	ストップウォッチモードです	17
⑤	アラームモードマーク	アラームモードです	19
⑥	デュアルタイムモードマーク	デュアルタイムモードです	21
⑦	オートスタートマーク	ストップウォッチのオートスタート機能のカウントダウン中です	18
⑧	アラームマーク	アラームが鳴ります	19
⑨	スプリット計測マーク	ストップウォッチのスプリット計測中です	17
⑩	パイプマーク	アラームやタイマーのタイムアップ等を、振動でお知らせします	23
⑪	時報マーク	時報が鳴ります	19



## 各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻表示</li> <li>時刻、日付、12/24 時間制表示切り替え</li> </ul>	11 13
タイマーモード	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイマーの設定、計測</li> </ul>	15
ストップウォッチモード	<ul style="list-style-type: none"> <li>経過時間の計測</li> <li>オートスタート機能</li> </ul>	17
アラームモード	<ul style="list-style-type: none"> <li>アラーム時刻と ON/OFF の設定</li> <li>時報の ON/OFF 設定</li> </ul>	19
デュアルタイムモード	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 つ目の時刻を表示</li> <li>12/24 時間制表示切り替え</li> </ul>	21

# 時刻を合わせる

現在の日付と時刻に合わせることができます。

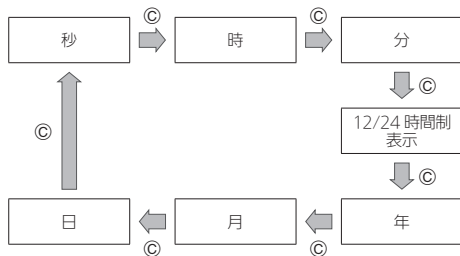
## 日付と時刻を合わせる

- ① 時刻モードで、**A** ボタンを約 2 秒間押し続け、  
セット状態に切り替えます。

「秒」が点滅します。



- ② **C** ボタンを押して、設定する項目を選択します。



- ③ ⑧ または ⑨ ボタンを押して、以下の設定を変更します。

画面	変更項目	操作
50	秒を「00」にリセット ・30～59秒の時は 1分繰り上がります	⑨ ボタンを押す
P 10:58	「時」「分」の変更	⑧ または ⑨ ボタンを押す※
12 H	12時間制(12H)と 24時間制(24H)の表示 切り替え	⑨ ボタンを押す
15 6:30	「年」「月」「日」の変更	⑧ または ⑨ ボタンを押す※

※ ⑨ または ⑧ ボタンを押し続けると早送りできます。

### 参考

- 日付の設定は、異なる月の長さや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。
- 24時間制では「24」（24時間マーク）が、12時間制の午後には「P」（午後マーク）が点灯します。

- ④ ① ボタンを押すと設定を終了し、時刻モードに戻ります。



# タイマー

タイマーは1秒から24時間まで設定することができます。タイムアップになると10秒間電子音が鳴る、または時計を10秒間振動させてお知らせします。

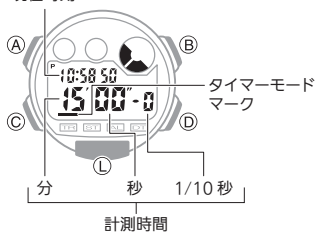
🔍 アラーム等のお知らせ方法を切り替える…P.23

## タイマーモードを選ぶ

● 時刻モードで、**Ⓒ** ボタンを押すと、タイマーモードに切り替わります。

🔍 モードの種類と切り替え…P.11

現在時刻※

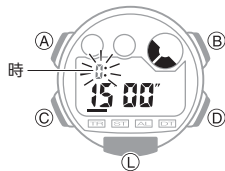


※ 計測時間を1時間以上に設定したとき、または計測中は、現在時刻の代わりに計測時間の「時」を表示します。

## 計測時間を設定する

① タイマーモードで、**Ⓐ** ボタンを約2秒間押し続けます。

「時」が点滅します。



② **Ⓒ** ボタンを押すごとに「時」、「分」または「秒」の選択が切り替わります。

選択している方が点滅します。

③ **Ⓑ** または **Ⓓ** ボタンを押して「時」、「分」または「秒」を設定します。

- **Ⓑ** または **Ⓓ** ボタンを押し続けると早送りできます。
- 計測時間を24時間に設定するときは、タイマー表示を0:00' 00" にしてください。

- 4 ④ ボタンを押して設定を終了します。

## 計測する

- タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。



### 参考

- タイムアップになると電子音／振動が10秒間鳴り、画面が計測前の状態に切り替わります。
- 他のモードに切り替えてもタイマー計測は継続し、電子音／振動による報知もします。

## 電子音／振動を止める

- いずれかのボタンを押すと、電子音／振動が止まります。

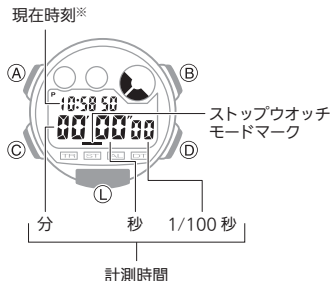
# ストップウォッチ

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59.99秒まで計測できます。計測範囲を超えた場合は、0に戻って計測を続けます。

## ストップウォッチモードを選ぶ

- 時刻モードで、**ⓐ** ボタンを2回押すと、ストップウォッチモードに切り替わります。

🔍 モードの種類と切り替え…P.11



※ 計測中は、現在時刻の代わりに計測時間の「時」を表示します。

## 計測する

- ストップウォッチ計測のボタン操作は、以下の通りです。

• 経過時間計測

ⓐ → ⓐ → ⓐ → ⓐ → ⓑ  
スタート ストップ (再スタート) (ストップ) リセット

• スプリットタイム (途中経過時間) 計測

ⓐ → ⓑ → ⓑ → ⓐ → ⓑ  
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット  
(スプリット計測マーク点灯) (スプリット計測マーク消灯)

• 1・2着同時計測

ⓐ → ⓑ → ⓐ → ⓑ → ⓑ  
スタート スプリット ストップ スプリット解除 リセット  
1着ゴール 2着ゴール (2着のタイム表示)  
(1着のタイム表示)

### 参考

- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり、計測範囲を超えても **D** ボタンを押すまで計測を継続します。
- スプリット計測中に他のモードへ切り替えると、スプリットが解除されて経過時間を表示します。

## オートスタート機能

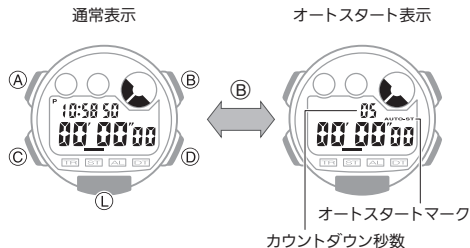
スタート (**D** ボタン) を押すと、5 秒間のカウントダウンの後に計測を開始します。

カウントダウンの 3 秒前からは、1 秒ごとに電子音（または振動）でお知らせします。

🔍 アラーム等のお知らせ方法を切り替える…P.23

## ◆オートスタート機能を使う

- ストップウォッチモードで、**B** ボタンを押して、オートスタート表示に切り替えます。  
カウントダウン秒数を表示します。



### 2 **D** ボタンを押して計測をスタートします。

カウントダウンを始めます。

- カウントダウン中に **D** ボタンを押すと、カウントダウンを中止して計測を開始します。
- 計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同じです。

# アラーム・時報

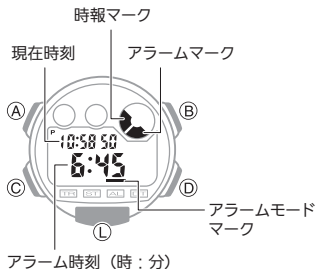
アラームで設定した時刻（アラーム時刻）になると 20 秒間の電子音、または 10 秒間の振動でお知らせします。また毎正時（00 分）の時報を、電子音または振動でお知らせすることもできます。

🔍 アラーム等のお知らせ方法を切り替える…P.23

## アラームモードを選ぶ

● 時刻モードで、**◎** ボタンを 3 回押すと、アラームモードに切り替わります。

🔍 モードの種類と切り替え…P.11



## アラーム時刻を設定する

① アラームモードで、**Ⓐ** ボタンを約 2 秒間押し続けます。

アラーム時刻の「時」が点滅します。

② **◎** ボタンを押すごとに「時」または「分」の選択が切り替わります。

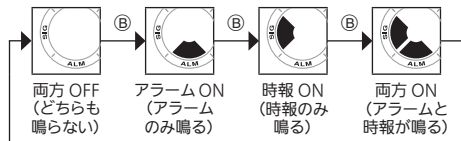
③ **Ⓑ** または **Ⓓ** ボタンを押して、「時」または「分」を設定します。

- **Ⓑ** または **Ⓓ** ボタンを押し続けると早送りできます。
- 12/24 時間制の設定は、時刻モードと同じになります。

④ **Ⓐ** ボタンを押すと、アラームモードに戻ります。

## アラーム・時報のON/OFF

- ① アラームモードで、**(B)** ボタンを押して、アラームまたは時報の ON/OFF を切り替えます。



(B)

- ② **(A)** ボタンを押すと、アラームモードに戻ります。

## 電子音／振動を止める

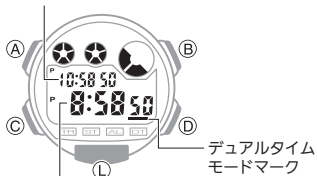
- いずれかのボタンを押すと、電子音／振動が止まります。

# 海外の時刻を見る(デュアルタイム)

デュアルタイムモードでは、時刻モードの時刻(タイム1)とは別に、海外時刻などもう1つの時刻(タイム2)を見ることができます。

例

タイム1：日本の時刻



タイム2：バンコクの時刻

## デュアルタイムモードを選ぶ

- 時刻モードで、(C) ボタンを4回押すと、デュアルタイムモードに切り替わります。

🔍 モードの種類と切り替え…P.11

## タイム2を設定する

- 1 デュアルタイムモードで、(A) ボタンを約2秒間押し続けます。  
タイム2の「時」が点滅します。
- 2 (C) ボタンを押すごとに「時」または「分」の選択が切り替わります。
- 3 (B) または (D) ボタンを押して、「時」または「分」を設定します。
  - (B) または (D) ボタンを押し続けると早送りできます。
  - 「秒」はタイム1と同じ(固定)です。
- 4 (A) ボタンを押すと、デュアルタイムモードに戻ります。

## タイム2の12/24時間制を切り替える

タイム1から独立して、タイム2の12/24時間制を選択できます。

- デュアルタイムモードで、**ⓑ** ボタンを押すごとにタイム2の12/24時間制が切り替わります。



# アラーム等のお知らせ方法

タイマーやアラーム等でのお知らせ方法を、音と振動のどちらかに切り替えができます。

	振動 OFF 時	振動 ON 時
タイマー	電子音でお知らせ	振動でお知らせ
アラーム		
ストップウォッチのオートスタートのカウントダウン		
ボタンの操作音		-

## アラーム等のお知らせ方法を切り替える

- 時刻モードで、**Ⓓ** ボタンを約2秒間押し続けて、振動の ON/OFF を切り替えます。  
振動 ON のとき、パイプマークが点灯します。




## 電子音／振動を確認する(モニターアラーム)

- アラームモードで、**Ⓑ** ボタンを押し続けると、押し続けている間、電子音／振動が確認できます。

# ライト

暗いところで時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。

## ライトを点灯させる

●  ボタンを押すとライトが点灯します。

### 参考

- ライト点灯中にアラーム等のお知らせがあった場合は、消灯します。

### ◆ ライト使用に関する注意事項

ライトを頻繁に使用すると電池の寿命が短くなります。

# 製品仕様

精度：平均月差±30秒

基本機能：時・分・秒、午前/午後 (P)、  
12/24 時間制表示、月・日・曜日、  
フルオートカレンダー (2000 ~  
2099 年)

タイマー機能：計測単位 1/10秒  
計測範囲 24時間  
セット単位 1秒  
タイムアップ時 10秒間の電子音ま  
たは振動で報知

ストップ：計測単位 1/100秒  
ウォッチ機能 計測範囲 23時間59分59秒99  
(24時間計)  
計測機能 経過時間計測、  
スプリット計測、  
1・2着同時計測、  
オートスタート機能

アラーム機能：時刻アラーム1本  
セット単位 時・分  
20 秒間の電子音または 10 秒間の  
振動で報知  
時報  
毎正時に電子音または振動で報知

デュアル：タイム1・2  
タイム機能 タイム2 セット単位 時・分  
12/24 時間制切り替え

その他：アラーム等のお知らせ切り替え、  
高輝度LEDライト

使用電池：CR2032 1個(電池別途販売)

電池寿命：約 10 年  
使用条件  
● ライト：1回(2秒)/日  
● アラーム：1回(電子音20秒または  
振動10秒)/日

ご使用条件によっては、電池寿命が  
短くなることがあります。

# ご使用上の注意

## ■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水	日常生活用強化防水		
		「BAR」表記無し	5気圧防水 5BAR	10気圧防水 10BAR	20気圧防水 20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。  
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
  - 「水中で」および「時計に水がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
  - 入浴のときに使用すること
  - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること

- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。  
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

## ■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

## ■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- + 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

## ■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-rms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

## ■磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますので避けください。

## ■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

## ■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

## ■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

## ■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。

## ご使用上の注意

- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

### ■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。  
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

### ■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

### ■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

### ■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

# お手入れについて

## ■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押ししたりしてください。

## ■お手入れを怠ると

### 〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

### 〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

### 〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

## 電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

### ■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

### ■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

## 金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。

お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)

